

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-166902

(43)Date of publication of application : 14.06.1994

(51)Int. CI.

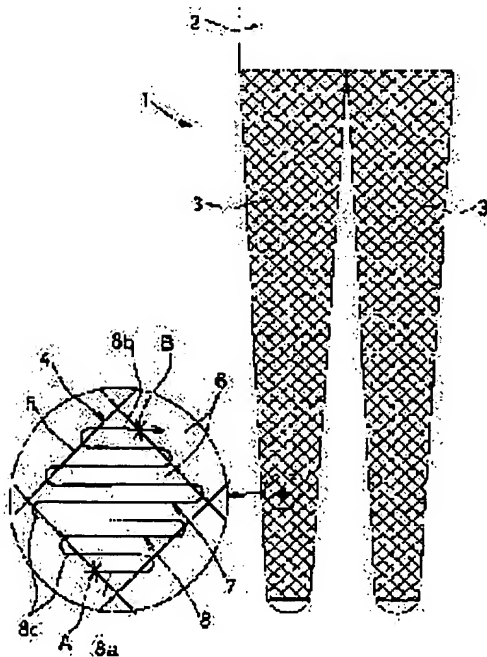
A41B 11/00

D04B 1/26

(21)Application number : 04-341511 (71)Applicant : YOKOCHI HIROMI

(22)Date of filing : 27.11.1992 (72)Inventor : YOKOCHI HIROMI

(54) METHOD FOR FORMING STOCKING



(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent yarn from fraying over a large range even if a part of the yarn is broken in or during wearing stockings and dispense with direct change thereof for new stockings.

CONSTITUTION: The stockings are provided with a base fabric 4 having a lace weave, many lace meshes 6 formed from yarns 5 constituting the base fabric 4 and knitted parts 7 knitted so as to respectively fill the meshes. The strength of the yarns 5 in the base fabric 4 is higher than that of

yarns 8 in the knitted parts 7. The respective yarns 8 constituting the respective knitted parts 7 are mutually independent.

[Date of request for examination] 27.11.1992

[Date of sending the examiner's
decision of rejection]

[Kind of final disposal of
application other than the
examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for
application]

[Patent number] 1973342

[Date of registration] 27.09.1995

[Number of appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right] 21.12.1997

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-166902

(43)公開日 平成6年(1994)6月14日

(51)Int.Cl.⁵

A41B 11/00

D04B 1/26

識別記号

庁内整理番号

A 2119-3B

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号 特願平4-341511

(22)出願日 平成4年(1992)11月27日

(71)出願人 592262842

横地 弘美

兵庫県尼崎市南武庫之荘6丁目13番9号

(72)発明者 横地 弘美

兵庫県尼崎市南武庫之荘6丁目13番9号

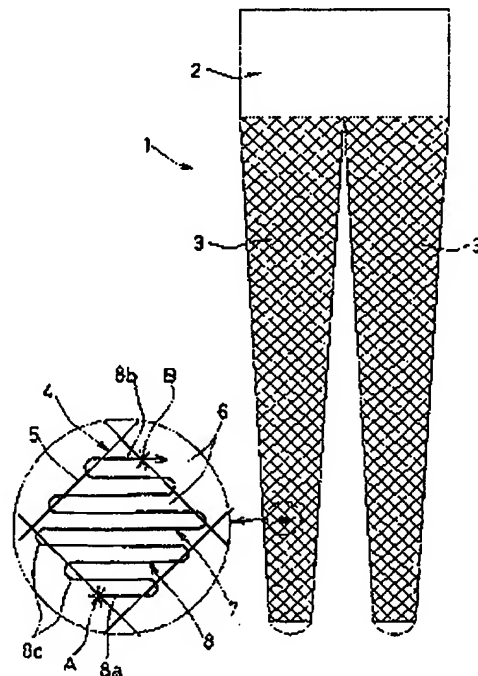
(74)代理人 弁理士 澤田 忠雄

(54)【発明の名称】 ストッキングの成形方法

(57)【要約】

【目的】 ストッキングの着用時や、着用中に、その一部の糸が切れたとしても、大きい範囲にわたってまで糸がはつれないようにして、これを直ちに新しいものにはき替えないで済むようにする。

【構成】 レース組織を有する基布4と、この基布4を構成する糸5によって成形された多数の透かし目6を、それぞれ埋めるように編まれる編み部7とを備える。上記基布4の糸5の強度を編み部7の糸8の強度よりも大きくする。上記各編み部7を構成する各糸8を互いに独立させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 レース組織を有する基布と、この基布を構成する糸によって成形された多数の透かし目を、それぞれ埋めるように編まれる編み部とを備え、上記基布の糸の強度を編み部の糸の強度よりも大きくすると共に、上記各編み部を構成する各糸を互いに独立させたストッキングの成形方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、特に女性用ストッキングの成形方法に関する。

【0002】

【従来の技術】編み物とは、一糸の糸を用い、縦または横方向にループを連続して、平面状に成形した布である。そして、これは伸縮性に富み、柔軟性があることから、従来より、パンティストッキングなどのストッキングの成形に用いられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記従来構成のストッキングを着用するとき、もしくは、着用した状態で、全体に弾性的に伸びるため、何らかのものに引っ掛かるなどして一か所でも糸が切れると、ここから、特に、ストッキングの長手方向に向って大きい範囲にわたり、糸がほつれることとなる。そして、この場合には、ストッキングの外観上の体裁が直ちに大きく低下するため、これを新しいものにはき替える必要が、直ちに生じることとなる。

【0004】

【発明の目的】この発明は、上記のような事情に注目してなされたもので、ストッキングの着用時や、着用中に、その一部の糸が切れたとしても、大きい範囲にわたって糸がほつれないようにして、外観上の体裁が大きくは低下しないようにし、これにより、上記したように糸が切れたとしても、これを新しいものに直ちにき替えないで済むようにすることを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するためのこの発明の特徴とするところは、レース組織を有する基布と、この基布を構成する糸によって成形された多数の透かし目を、それぞれ埋めるように編まれる編み部とを備え、上記基布の糸の強度を編み部の糸の強度よりも大きくすると共に、上記各編み部を構成する各糸を互いに独立させた点にある。

【0006】

【作 用】上記構成による作用は次の如くである。ストッキング1がレース組織を有する基布4と、この基布4を構成する糸5によって成形された多数の透かし目6を、それぞれ埋めるように編まれる編み部7とを備え、上記基布4の糸5の強度を編み部7の糸8の強度よりも大きくすると共に、上記各編み部7を構成する各糸8を

互いに独立させてある。このため、上記編み部7を構成する糸8の一部が切れたとき、この糸8がほつれるのは、この糸8により成形された編み部7だけにとどまり、他の編み部7にまで及ぶことが防止される。よって、上記ほつれが大きい範囲にわたることが防止される。

【0007】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面により説明する。

【実施例1】図1と図2は、実施例1を示している。図において、符号1は女性用のパンティストッキング1で、このストッキング1は臀部2と、脚部3、3とで構成されている。上記臀部2は、編み物組織となっている。一方、各脚部3は、レース組織である基布4を備え、この基布4を構成する糸5によって、菱形の透かし目6が多数形成されている。この透かし目6の配列のピッチは、上下、左右それぞれ約2 cmから3 cmである。また、これら各透かし目6をそれぞれ埋めるように編まれる編み部7が設けられている。

【0008】上記基布4において、透かし目6を成形している糸5の引張強度は、各編み部7を構成する各糸8の引張強度よりも十分に大きくされている。また、上記各編み部7を構成する各糸8は互いに独立している。より具体的には、各編み部7の糸8は互いに切断されて、各編み部7毎に分割されており、このため、ある編み部7の糸8が切れたとき、これによる糸8のほつれは、他の編み部7に及ばないようになされている。

【0009】上記編み部7を構成する糸8の一端側8aは、上記透かし目6の下端側の糸5に結び付けられて、ここからはつれないようになされている（図中A部）。そして、この糸8は、左右にジグザグ状とされながら上方に向って、平編みにより編み込まれており、同上糸8の他端側8bが上記透かし目6の上端に達したとき、この他端側8bは切断されると共に、同上透かし目6の上端側の糸5に結び付けられて、ここからはつれないようになされている（図中B部）。なお、上記糸8の一端側8aや他端側8bは、必ずしも糸5に結び付けなくてもよい。

【0010】また、上記したように、糸8が透かし目6の下端側から上端側に編み込まれるとき、この糸8の中途部の左右各側部8cは、上記透かし目6を構成する糸5の左右側部を編み込んであり、このようにして、基布4に各編み部7が取り付けられている。

【0011】上記編み作業は、編み機によって自動的に行われるが、この際、透かし目6の糸5の位置は、予め機械的に定められ、もしくは、その都度、カメラセンサーを用いた電子的な画像処理等により検出される。そして、このように位置が定められ、もしくは検出された各透かし目6の糸5に対し、上記したように編み部7の糸8が次々と編み付けられる。

【0012】なお、上記基布4と編み部7の色彩は互いに異なってもよいが、同じにしてもよく、このようにすれば、単一の糸で編まれた従来のストッキングと外観上の差異を小さくできる。また、基布4と編み部7とによる構成は、胸部3全体にする必要はなく、膝から下など部分的に設けてもよい。更に、透かし目6の配列の前記ピッチは、2cm未満でもよく、3cmを超えてもよい。また、各糸5、8の太さは互いに同じにしてもよい。更に、編み部7はゴム編み、パール編み等であってもよい。

【0013】(実施例2) 図3は、実施例2を示している。これによれば、透かし目6の1つは、4枚の花びらを持つ花模様10であり、また、その他の透かし目6は、上記4つの花模様10に囲まれたほぼ4角形の矩形状模様11である。そして、これら花模様10と矩形状模様11のそれぞれに編み部7が互いに独立に設けられている。他の構成や作用は前記実施例と同様であるため、図面に共通の符号を付してその説明を省略する。なお、上記透かし目6は矩形、円形、その他の形状であってもよい。

【0014】

【発明の効果】この発明によれば、ストッキングがレース組織を有する基布と、この基布を構成する糸によって成形された多数の透かし目を、それぞれ埋めるように編まれる編み部とを備え、上記基布の糸の強度を編み部の糸の強度よりも大きくすると共に、上記各編み部を構成する各糸を互いに独立させてある。このため、上記編み部を構成する糸の一部が切れたとき、この糸がはつれるのは、この糸により成形された編み部だけにとどまり、*

*大きい範囲にわたってはつれることが防止される。よって、ある編み部の糸の一部が切れたとしても、ストッキングの外観上の体裁が直ちに大きく低下するということは防止されることから、これを新しいものに直ちにははき替えないで済むという利点がある。

【0015】また、上記したようにある編み部の糸の一部が切れたとき、この編み部における糸を全て取り除けば、透かし目の模様が浮かび上がることとなる。このため、予め、この透かし目の模様を体裁よくしておけば、上記のように編み部を取り除いた透かし目をワンポイントの模様として利用できる。よって、ある編み部の糸の一部が切れたとしても、ストッキングの外観上の体裁は良好に保たれることから、このストッキングを新しいものに直ちには取り替える必要がない。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例1で、パンティストッキングの全体図と、一部拡大図である。

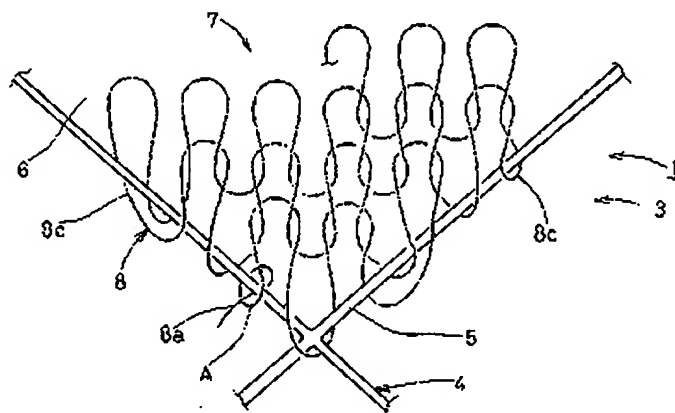
【図2】実施例1で、パンティストッキングの一部拡大図である。

20 【図3】実施例2で、パンティストッキングの全体図である。

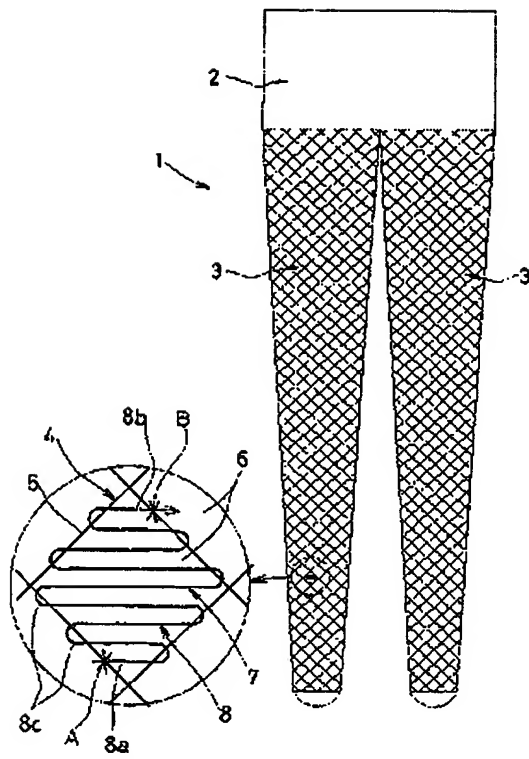
【符号の説明】

- | | |
|---|--------|
| 1 | ストッキング |
| 3 | 胸部 |
| 4 | 基布 |
| 5 | 糸 |
| 6 | 透かし目 |
| 7 | 編み部 |
| 8 | 糸 |

【図2】



【図1】



【図3】

